

おぼろげにうの会ニュース

発行
平塚らいてうの会
〒112-0002
東京都文京区
小石川
5-10-20-5F
TEL・FAX
03-3818-8626

「わたし」がひらく新しい世界を

らいてう生誕130年に寄せて

NPO平塚らいてうの会会長 米田 佐代子

日本国憲法公布から70年



撮影 米田 佐代子

今年、らいてう生誕130年、らいてうの平和のこころざしを伝えようとオープンした、らいてうの家も10周年を迎えます。また国政の「婦人参政権」初行使（沖縄市議市長選では1945年9月女性参政権行使）から70年、日本国憲法公布からも70年の節目の年でもあり、昨年強行成立した「戦争法」の廃止をめざす年です。参議院選挙の前に野党協力も前進、「戦争法廃止2千万署名」も始まりました。

今は「新しい戦前」でしょうか？

けれども、一方で「明文改憲」をめざす安倍政権が、依然として一定の支持を得ていることも事実です。今はもう「新たな戦前」だという声も聞こえます。では「戦前」ってなんだろう。かつて日本が戦争に突入していった時代にも、多くの人がびとは「戦争反対」でした。それなのに「アジア

解放」「東洋平和」と言われ、「聖戦」を信じ込まされた苦い体験があります。今「国際貢献」「積極的平和主義」などの言葉が飛び交うなかで、わたしたちはまたもや「いつか来た」戦争への道を歩むのでしょうか。

「女性には戦争を止めさせる責任がある」

平塚らいてうは、戦争中の女性は無権利で本当のことを知らされず、自分自身を含めて戦争を阻止できなかったことを愧じ、「戦後主権者となった日本の女性には戦争を止めさせる責任がある」と書きました。彼女は、そのために自分の目で現実をみつめ、自分で考え、「思うことをまっすぐに」つらぬいて行動したのです。たとえ耳ざわりのよい言葉でも、人に言われて鵜呑みにするのはなく、自分自身でとらえなおそう、とらいてうは訴えました。5月21日の総会ではその精神を受け継ぎ、激動する時代を自分の手でつかみとり、行動するために話し合います。

自分の言葉で平和な世界をつくらう

今年、らいてうの会は記念行事として、東京ではノーマ・フィールドさんと青井未帆さんを、らいてうの家がある上田では上野千鶴子さんと古田睦美さんをお招きし、米田も加わってシンポジウ

ムを開きます。ノーマさんは若い世代に「自分の言葉を持っていますか？」と語りかけ、上野千鶴子さんは「当事者」であり「権利主体」である自分を確立しようと呼びかけています。地域に根ざし、世界に目を向けて「今、わたしたちはどんな平和世界をつくっていくのか」を考えましょう。新しいらいてう像を紹介するブックレットや『平塚らいてうの会紀要』9号、らいてうの家を守ってきた仲間たちの文集も発刊予定です。

記念事業の募金もすでに多くの方からお寄せいただき、心から感謝いたします。でも、まだ道半ばです。どうかよろしくおねがい申しあげます。

第17回通常総会とらいてう忌のご案内

日時 2016年5月21日(土) 13時開会
会場 婦選会館 一階多目的ホール(代々木) 議題
①15年度事業報告と決算報告
②16年度記念事業と通常事業計画(案)と予算(案)について
③役員選出 ④その他

「らいてう忌」お話と討論

14時40分 同会場
お話 折井純さんと折井美耶子さん
「選択的夫婦別姓問題」についての
最高裁判決にふれて

らいてうの家オープン 4月29日(金)
オープニングセレモニー
11時 朗読「古事記」広瀬しず江さん
11時40分 春の茶席(宮島松実社中)

記念行事にお招きする方がたご紹介

8月は上田で上野さんと古田さんを、11月は東京でノーマ・フィールドさんと青井さんをお招きして記念シンポジウムを開催します。平和憲法の危機、国際情勢をめぐる激動の情勢のもとでの開催に、大きな期待が寄せられています。

ノーマ・フィールドさん 1947年生まれ。



アメリカ人の父と日本人の母をもち、「二つの国」をみつめつつ源氏物語から小林多喜二まで日本文化研究の優れた論考を発表。『天皇の逝く国で』『小林多喜二』など著作多数。昨年11

月の戦争法廃止国会前集会で「憲法9条というかけがえないもの」を「一度手離したら絶対取り返すことができないものだと思います」とスピーチ、時代と向き合う「言葉の力」「言葉の意味」を考えようと呼びかける。シカゴ大学名誉教授。

上野千鶴子さん 1948年生まれ。社会学者、フェミニズムの論客。介護やケア問題の調査活動を踏まえ、著書多数。最新刊の『おひとりさまの



最新刊の『おひとりさまの最期』では「介護は女性（無償・低賃金）」というジェンダーシステムを乗り越え、「家族や施設依存ではなく地域的ケア

システムの構築」を提起、「当事者」として自己決定する「当事者主権」を提唱する。現在「認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）」理事長として、女性のミニコミ資料をアーカイブ化するミニコミ電子図書館運動を推進中。

青井未帆さん 1973年生まれ。憲法学者。



立憲デモクラシーの会、国民安保法制懇メンバーとして積極的に発言。「安保法制で憲法が紙切れに」「外から見て日本は立憲主義国なのか」と警鐘を鳴らしつつ、「9

条と24条を合わせ読む形でリアルに平和の問題を考えるべき」「権力を持たない女性は批判者に最も適しているとポジティブに捉えて希望を持つ」と訴える（2014年らいてう講座）。学習院大学教授。著書に『憲法を守るのは誰か』『国家安全保障法批判』など。

古田睦美さん 1961年生まれ。日経「大学の地域貢献度ランキング（私立大学の部）」第一位の長野大学で、その先



頭に立つ異色の社会学者。上田で「食と農のまちづくりネットワーク」を立ち上げ、伝統野菜山口大根の会でも活躍。「エコフェミニ

ズム」を提唱。長野県や上田市の男女共同参画条例策定委員長などを歴任。長野大学環境ツーリズム学部長。著書『主婦のむこうに』共著『儲かればそれでいいのか』など。

コーディネーター

米田佐代子 1934年生まれ。女性史研究者。

山梨県立女子短大教授退任後、NPO法人平塚らいてうの会会長としてらいてうの家建設にあたり、現在らいてうの家館長。「生活者としての平和思想家」平塚らいてうの再発見に挑戦中。著書に『平塚らいてう評論集（共編）』『女たちが戦争に向き合うとき』など。

平塚らいてう生誕130年記念シンポジウム
— NPO法人平塚らいてうの会15周年
らいてうの家10周年 —

*地域に根ざし 平和とくらしを
まもるために

8月28日（日）午後1時より

上野千鶴子、古田睦美、米田佐代子

上田市真田町 真田文化会館 資料代500円

オープンニングは中川美保さんのサククス演奏

*それぞれの言葉で語る「平和」から

「わたしたちの 現在（いま）」を考える

ノーマ・フィールド、青井未帆、米田佐代子

11月19日（土）午後1時30分より

主婦会館プラザエフ（東京・四ツ谷駅）

参加費 一般2000円 学生1000円

森のめぐみを豊かに感じた二日間

今年の「森のめぐみ」講座は2月28日、29日に行われました。

一日目 学習会

午前中、上田駅近くの松尾町フードセンターを会場に「『時報』にみる子どもたちと戦争」という内容で上田小県近現代史研究会の桂木恵先生からお話を聞きました。上田・真田らいてうの会から18名、東京からの参加者を含め総勢32名の参加で会場はぎっしりでした。上田地域で昭和10年代発行されていた各地域の「時報」に掲載された当時の子どもたちの作文や記事から、その当時の時代の実像にせまりました。桂木先生は、「この時代からの学びを、現在に生きる私たちの教訓にしたい。」と熱く思いを語られました。「二度と戦争被害者にも加害者にもならない、させられないための答えにつながるものは何か」お話を聞きながら参加者でも考え合いました。

『時報』発行を可能ならしめたものの要因のひとつに養蚕業のもたらした技術や文化、富、大正デモクラシーを背景にした長野県の青年団の民主化の動きがあること。同時に戦後、戦争への反省がきちんとされていないこと。「自分の足で立ち、自分の頭で考える」大切さ、「子ども自身に潜む人間本来の素晴らしさに正対すること」という小宮山量平さんの言葉を心に据えていきたいと話されました。時代を動かす要素の一に教育、二にメディア、三に地域、この三要素を私たちもこれか

ら注目していきたいと思えます。昼食はひな飾りのちらしご飯を中心に「地産地消」をめざすコラボ食堂の地元食材満載お弁当と茶碗蒸しでした。

二日目 スノーシュー

曇りがちの朝でしたが、東京からの参加者13名地元から4名、賑やかに冬の高原歩きを楽しみました。今年は例年になく雪の量が少なくそして暖かく、雪は春先特有の締まりをみせて歩きやすい状態です。去年は見えなかつたササも今年は顔を出していました。「スノーシューで森の命を訪ねる」の通り暖かさも味方し、たくさん森の命に出会えました。梢にノスリの巣があり、ツグミが顔を出し、リスに至っては私たちの周りの木々を楽しげに走り回り大サービスをしてくれました。子うさぎの足跡、カモシカの大量の糞に歓声。インストラクターの西牧さん、笠原さんの丁寧な説明も好評。また恒例の雪のシャベットも今年は練乳とワインのトッピングもあり大喜びでした。ゲームも楽しみ、初めて顔を合わせた参加者の皆さんもお互いを知るよい機会でした。東京からの皆さん



ら注目していきたいと思えます。昼食はひな飾りのちらしご飯を中心に「地産地消」をめざすコラボ食堂の地元食材満載お弁当と茶碗蒸しでした。

んはその後、今話題の「真田丸大河ドラマ館」等を見学し、上田の町歩きで上田の歴史を堪能していただき、新たに会員になっていただいた方もおられて実り多い二日間でした。(若尾 伸子)

らいてうの会・らいてうの家イベント予定

- 4月29日 らいてうの家オープン
- 5月21日 らいてうの会総会・らいてう忌
- 6月4日 らいてう講座①(らいてうの家)
- お話 折井純さんと折井美耶子さん 「選択的夫婦別姓問題」について
- 8月27日 記念イベント・らいてうの家で
- 8月28日 真田町で記念シンポジウム
- 9月17日 源氏物語講座(らいてうの家)
- お話 宮島満里子さん 「紫式部からのメッセージⅡ」
- 10月1〜2日 森の講座・らいてうの森の笹刈り
- 10月16日 昔語りの会(らいてうの家)
- 11月7日 らいてうの家閉館
- 11月19日 東京で記念シンポジウム

らいてうの会も取り組みます！ 戦争法の廃止を求める 2000万署名

昨年成立した憲法違反の「安保法制(戦争法)」を廃止させる署名運動です。私たちも「女たちが戦争を止めさせなくてはならない」「憲法を守りぬく覚悟」を訴え続けたいらいてうのこころざしを受け継ぎ、署名を成功させましょう。用紙ご希望の方はお問い合わせ下さい。

らいてうと『エミール』への想い
戸部松実さんをお訪ねして



戸部松実さんは青山学院大学で長く教鞭を執られ、フランス文学の研究者として、とりわけルソーの研究者

として著名な方です。らいてうの会に共鳴され、ご著書『エミール』談論』をらいてうの会に寄贈してくださいました。戸部さんをお訪ねし、日本の現状への批判にも触れながら、らいてうさんとらいてうさんの思想を継ぐ「らいてうの会」に寄せる熱い思いを伺いました。

―母が市川房枝さんの会に入っていたので、らいてうさんの名前は知っていました。米田さんが2005年の『日経新聞』に、多くの人々が集い、語り、学び、やすらぐ「らいてうの家」をつくりたいと書いた文章を読んで、らいてうはルソーの『エミール』をちゃんと読んだ人だと思ったことが、興味を持った最初のきっかけです。

らいてうの自伝や評論集を読んで、らいてうは本を読む時に一番中心になることをつかむ、他の人とは違う読み方ができた人だと思いました。らいてうの「生きていくことは行動することである。ただ呼吸することではない」という文章

は、『エミール』の第1巻に書いてあります。らいてうがそこを見つけたことに感動しました。私が研究しているフランス文学では、人間は生きていく限り動くものという考え方が伝統なのです。

また、「ある期間は母親が子どもを育てることが女性の権利である」との主張は、子どもは社会のために育てるものというエレン・ケイのルソー理解が、らいてうの根本にあつたからでしょう。

らいてうの会に期待することとしては、幅広い、ゆつたりした研究の場を若い人に提供してもらいたいことです。広い自由な立場から根本的なことを研究していける場があれば、いつか花開くのではないのでしょうか。税金がきちんと還元されないので、役立ててくれるところ、「ここならば」という思いで会に寄付をしました。

大変な時勢ですが、各人がらいてうのように自分の知識、感じたことを大事にして個人を確立すれば、強いのではないのでしょうか。若い人に希望をつないで欲しいと願っています。

私は米田さんがらいてうに焦点を当てたことに共感し、嬉しく思っています。そして若い人には自分がいいと思つた道を歩んで欲しいと思っています。

さまざまなお考えを込めて節目の年に

「ご寄付ありがとうございます！」

昨年10月から、記念事業へのご寄付をお願いしてまいりましたが、戸部松実さん、大河内昭子さんからそれぞれ100万円のご寄付をいただいたのははじめ、2月末現在330人の方がご寄付を

お寄せくださいました。本当にありがとうございます。1000円、2000円から100万円まで、さまざまなかたちで届いたご寄付には、「私も平和のために力を出します」「みんなで少しずつ集めました」「らいてうの家を守る地域の方たちに感謝」などの思いが込められています。現在目標の半ばに届きましたが、海外からゲストをお招きする費用をはじめ、意義ある記念行事のためにはまだまだです。どうかさらにお力添えくださいますよう、心からお願ひ申し上げます。

【事務局日誌】

- 1月7日 16年記念事業事務局会議
- 1月12日 上田・真田合同新年会・16年記念事業の検討(米田会長・木村副会長出席)
- 1月15日 東京のシンポ実行委員会
- 1月18日 第6回理事会開催
- 1月18日 紀要第9号編集委員会
- 2月10日 4月1日付ニュース編集会議
- 2月17日 来日中のノーマ・フィールドさんを米田会長、堀江副会長が表敬訪問
- 2月19日 第4回常任理事会
- 2月24日 戸部松実さんインタビューのためニュース編集委員がご自宅を訪問
- 2月25日 中野邦先生『成瀬仁蔵研究』出版を祝う会に出席(こけしやにて)
- 2月28〜29日 学習とスノーシューを楽しむ会
- 3月14日 第7回理事会開催
- 3月19日 婦人民主クラブ創立70周年レセプションに米田会長出席